



平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 17 年 7 月 29 日

上場会社名 株式会社トクヤマ (コード番号: 4043 東証、大証第 1 部)

(URL <http://www.tokuyama.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 中原 茂明

問合せ先責任者 広報グループリーダー 油谷 邦久 TEL: (03) 3499-8023

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

◎固定資産の減価償却費の方法

(1) 有形固定資産 : 年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

(2) 無形固定資産 : 年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

② 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有

(内容)

◎一部

の連結子会社において、従来売上原価として処理しておりました物流費用及びシステム関連費用を、当連結会計年度より販売費及び一般管理費で処理する方法に変更しております。

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 1 四半期	60,617	10.7	5,229	67.9	4,331	93.3	2,517	213.9
17 年 3 月期第 1 四半期	54,752	1.4	3,115	12.0	2,241	68.5	801	77.0
(参考) 17 年 3 月期	237,552	8.3	18,172	37.7	15,338	65.9	11,012	82.4

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 1 四半期	9.90	—
17 年 3 月期第 1 四半期	3.15	—
(参考) 17 年 3 月期	43.01	—

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の業績は売上高、営業利益とも前年同期実績を上回りました。

<化学品>

苛性ソーダは国内外の需要が好調で、イソプロピルアルコールも堅調に推移しました。珪酸ソーダ・カレットは土木分野等の需要減により低迷しました。

新第一塩ビ(株)は原料コストや補修費などの増加があったものの、前期後半からの市況改善を受け業績は堅調に推移しました。フィルム事業のサン・トックス(株)は原料コストの増加を合理化等により補い業績は回復しつつあります。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は 241 億 9 千万円 (対前年同期比 9.4% 増)、営業利益は 19 億 2 千万円 (対前年同期比 27.7% 増) となりました。

<特殊品>

多結晶シリコンは半導体及び太陽電池向けの需要がともに好調であったことに加え、価格是正の実現により、業績は好調に推移しました。乾式シリカは中国を中心としたアジアで自動車、家電、生活インフラ整備等の活況が続いており、シリコンやトナー向けをはじめとした需要は堅調に推移しました。一方、湿式シリカは競争激化により低調に推移しました。

半導体・液晶向け電子工業用イソプロピルアルコールや現像液の出荷は好調でしたが、原料価格の高騰や減価償却費の増加もあり収益は伸び悩みました。窒化アルミニウムは競争激化の影響を受け、

低調に推移しました。

(株)エイアンドティーは臨床検査情報システムの販売が低調でした。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は176億7千万円(対前年同期比15.2%増)、営業利益は33億1千万円(対前年同期比87.4%増)となりました。

<セメント建材その他>

セメントは公共投資縮減の鈍化や大都市圏での民間建設需要の回復もあり、売上高は増加しましたが、石炭価格の上昇をコストダウンや価格是正により吸収するには至らず業績は悪化しました。一方、資源環境事業は建設発生土等の廃棄物受入拡大が寄与し、順調に業績を伸ばしました。

生コンクリート製造販売会社、セメント販売会社は合理化効果等により業績が回復しつつあります。

樹脂サッシ事業のシャノングループは、原材料コストや拡販のための固定費の増加に加え競争激化もあり、収益は伸び悩みました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は187億4千万円(対前年同期比8.3%増)、営業利益は7億1千万円(対前年同期比18.0%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	305,617	135,831	44.4	534.37
17年3月期第1四半期	312,884	124,560	39.8	489.58
(参考)17年3月期	308,924	134,395	43.5	528.35

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	8,680	△4,227	△5,022	14,236
17年3月期第1四半期	3,691	△8,231	4,035	21,766
(参考)17年3月期	25,618	△15,772	△17,393	14,800

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期の財政状態は以下の通りです。

総資産は平成17年3月(前期)末比33億円の減少に対し、株主資本は前期比14億3千万円の増加であったため、株主資本比率は44.4%と0.9ポイント増加しました。

資産増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金の減少33億4千万円、たな卸資産の増加25億7千万円、固定資産では投資有価証券7億3千万円の減少などです。

負債は49億3千万円減少しました。その増減の主なものは、流動負債では商業ペーパーの償還による減少30億円、固定負債では長期借入金の返済による減少16億9千万円などです。

株主資本はその他有価証券評価差額金が4億円減少しましたが、利益剰余金が16億8千万円増加しました。

(キャッシュ・フロー計算書)

営業活動によるキャッシュ・フローは、86億8千万円の収入となりました。内訳の主なものは、税金等調整前当期純利益44億7千万円、減価償却費42億2千万円、売上債権の減少額(収入額の増加)33億9千万円、たな卸資産の増加額(支払額の増加)25億5千万円、法人税等の支払額21億3千万円などです。

投資活動によるキャッシュ・フローは42億2千万円の支出となりました。内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出46億7千万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、50億2千万円の支出となりました。内訳の主なものは、商業ペーパーの償還による支出30億円及び長期借入金の返済による支出10億8千万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、期首に比べ5億6千万円減少し、142億3千万円となりました。

(参考1) 四半期個別業績概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	40,152	11.7	3,480	85.5	3,361	88.5	2,099	1.4
17年3月期第1四半期	35,944	△0.2	1,876	△0.5	1,782	48.2	2,070	208.5
(参考)17年3月期	155,403	7.1	10,295	8.3	8,688	31.6	7,620	58.3

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	8.26	—
17年3月期第1四半期	8.14	—
(参考)17年3月期	29.71	—

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	123,500	9,500	7,700	5,000
通期	255,000	22,000	18,500	11,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 45円24銭

(参考2) 平成 18 年 3 月期の個別業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	80,000	6,500	6,000	4,000
通期	165,000	15,000	13,000	8,000

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期および通期業績予想については、連結及び個別のいずれも平成 17 年 5 月 12 日に発表しました数値を変更しておりません。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

四半期連結（要約）損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第1四半期 〔自 17. 4. 1 至 17. 6. 30〕	前第1四半期 〔自 16. 4. 1 至 16. 6. 30〕	増 減	(参考)前 期 〔自 16. 4. 1 至 17. 3. 31〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	60,617	54,752	5,865	237,552
II 売上原価	41,105	39,015	2,089	167,432
売上総利益	19,512	15,736	3,776	70,120
III 販売費及び一般管理費	14,283	12,620	1,662	51,947
営業利益	5,229	3,115	2,113	18,172
IV 営業外収益	700	671	29	4,028
1. 受取利息及び配当金	268	199	68	372
2. 雑収入	432	471	△ 38	3,655
V 営業外費用	1,598	1,545	53	6,862
1. 支払利息	421	482	△ 60	1,889
2. 雑支出	1,177	1,063	113	4,973
経常利益	4,331	2,241	2,090	15,338
VI 特別利益	747	521	226	2,721
VII 特別損失	603	366	237	4,331
税金等調整前四半期 （当期）純利益	4,475	2,396	2,079	13,728
法人税等	1,692	1,453	238	1,407
少数株主損益（減算：△）	△ 266	△ 141	△ 124	△ 1,309
四半期（当期）純利益	2,517	801	1,715	11,012

（会計処理方法の変更）

一部の連結子会社において、従来売上原価として処理しておりました物流費用及びシステム関連費用を、当連結会計年度より販売費及び一般管理費で処理する方法に変更しております。

この変更は、これらの会社の当該費用に金額的重要性が増してきたことから、当該連結子会社以外の物流費用及びシステム関連費用との整合性を図り、経営指標等を適切に表示することを目的として行ったものであります。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、当連結会計年度の売上総利益が1,489百万円増加しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はございません。

また、セグメント情報に与える影響はありません。

四半期連結（要約）貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 (17. 6. 30)	前第1四半期 (16. 6. 30)	増 減	(参考)前 期 (17. 3. 31)
	金 額	金 額	金 額	金 額
資産の部				
I 流動資産	111,194	113,369	△ 2,175	112,756
1. 現金及び預金	14,425	21,481	△ 7,056	15,028
2. 受取手形及び売掛金	61,574	57,745	3,828	64,918
3. たな卸資産	25,521	24,558	962	22,943
4. その他	9,673	9,583	89	9,865
II 固定資産	194,422	199,514	△ 5,092	196,168
1. 有形固定資産	139,466	144,031	△ 4,565	140,318
(1) 建物及び構築物	37,949	38,965	△ 1,016	38,023
(2) 機械装置及び運搬具	65,324	67,146	△ 1,821	65,312
(3) 土地	28,077	28,943	△ 865	28,059
(4) その他	8,113	8,975	△ 861	8,923
2. 無形固定資産	1,835	2,259	△ 423	1,900
3. 投資その他の資産	53,120	53,223	△ 103	53,949
(1) 投資有価証券	41,852	41,262	590	42,591
(2) その他	11,267	11,961	△ 693	11,358
資産合計	305,617	312,884	△ 7,267	308,924
負債の部				
I 流動負債	83,303	94,017	△ 10,713	81,823
1. 支払手形及び買掛金	34,373	29,576	4,796	34,976
2. 短期借入金	15,566	26,501	△ 10,934	14,833
3. その他	33,364	37,939	△ 4,575	32,012
II 固定負債	82,449	92,112	△ 9,663	88,860
1. 社債	30,000	34,800	△ 4,800	34,800
2. 長期借入金	34,970	38,765	△ 3,794	36,670
3. その他	17,478	18,547	△ 1,069	17,389
負債合計	165,752	186,130	△ 20,377	170,683
少数株主持分	4,032	2,193	1,839	3,845
資本の部				
I 資本金	19,273	19,273	—	19,273
II 資本剰余金	23,496	23,495	1	23,496
III 利益剰余金	81,203	70,256	10,946	79,521
IV その他有価証券評価差額金	13,247	13,193	53	13,651
V 為替換算調整勘定	△ 1,051	△ 1,467	416	△ 1,242
VI 自己株式	△ 339	△ 191	△ 147	△ 306
資本合計	135,831	124,560	11,270	134,395
負債、少数株主持分及び資本合計	305,617	312,884	△ 7,267	308,924

四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔自 17. 4. 1〕 至 17. 6. 30〕	前第1四半期 〔自 16. 4. 1〕 至 16. 6. 30〕	(参考)前 期 〔自 16. 4. 1〕 至 17. 3. 31〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,475	2,396	13,728
減価償却費	4,224	4,347	18,336
売上債権の増減額(増加：△)	3,396	438	△ 6,489
その他	△ 3,415	△ 3,490	43
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,680	3,691	25,618
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 4,670	△ 6,022	△ 16,510
国庫補助金等による収入	552	—	2,382
その他	△ 110	△ 2,208	△ 1,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,227	△ 8,231	△ 15,772
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,022	4,035	△ 17,393
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△ 12	24
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 563	△ 518	△ 7,522
VI 現金及び現金同等物の期首残高	14,800	22,215	22,215
VII 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	69	108
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	14,236	21,766	14,800

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期(自 17. 4. 1 至 17. 6. 30)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	24,196	17,674	18,746	60,617	—	60,617
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	356	13	1,960	2,330	(2,330)	—
計	24,553	17,687	20,706	62,948	(2,330)	60,617
営業費用	22,629	14,368	19,988	56,986	(1,597)	55,388
営業利益	1,924	3,319	718	5,962	(733)	5,229

前第1四半期(自 16. 4. 1 至 16. 6. 30)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	22,111	15,336	17,304	54,752	—	54,752
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	352	56	1,496	1,905	(1,905)	—
計	22,463	15,392	18,801	56,657	(1,905)	54,752
営業費用	20,957	13,621	18,192	52,771	(1,134)	51,636
営業利益	1,506	1,770	609	3,886	(771)	3,115

(参考)前期(自 16. 4. 1 至 17. 3. 31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	95,771	67,155	74,626	237,552	—	237,552
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,508	114	6,968	8,591	(8,591)	—
計	97,279	67,269	81,594	246,144	(8,591)	237,552
営業費用	88,714	58,040	78,337	225,092	(5,712)	219,379
営業利益	8,565	9,229	3,257	21,051	(2,878)	18,172

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているためその記載を省略しております。

3. 海外売上高

当第1四半期(自 17. 4. 1 至 17. 6. 30)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I 海外売上高	6,889	2,639	9,528
II 連結売上高			60,617
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.4	4.4	15.7

前第1四半期(自 16. 4. 1 至 16. 6.30)

(単位：百万円)

	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	5,805	2,011	7,817
II 連結売上高			54,752
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.6	3.7	14.3

(参考)前 期(自 16. 4. 1 至 17. 3.31)

(単位：百万円)

	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	26,657	10,671	37,328
II 連結売上高			237,552
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.2	4.5	15.7

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域は、以下のとおりであります。
 (1) アジア…中国、韓国、台湾
 (2) その他…欧州、北米